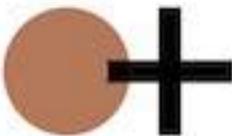


[View this email in your browser](#)

Tomoko
Mukaiyama
Foundation^x.

multus
マルタス 

HOME in 高知



© Tomoko Mukaiyama

昨年秋にさいたまトリエンナーレで発表し好評を得た「HOME」が、高知県立美術館の招きで来年春に再演する。オランダのグローニンゲン、さいたま市岩槻に続く舞台は、高知市郊外の太平洋沿いの浜辺の町、赤岡町。土佐歌舞伎や江戸時代の絵師・絵金などの歴史を持ち、ひっそりと、しかし独自の芸能の文化を持つ土地に建つ古い町屋で展開される。土地のエネルギー、家の記憶、そして間取りといった環境と、ダンサー湯浅永麻の身体と観客との響きあう

「HOME」は、新たな表情を持ってリクリエーションされることになるだろう。

また、来年の夏には、山田うんを振付家に迎え、オランダ・高知・東京の島をつないで展開するプロジェクト「雅歌 GAKA」も同時進行中。詳細は追って。

HOME 高知

4月30日 [月]、5月 1日 [火]、5月 3日 [木]、5月 4日 [金]、5月 5日 [土]、5月 6日 [日]
5月 9日 [水]、5月11日 [金]、5月12日 [土]、5月13日 [日]



HOME

メリダ国際ブラスフェスティバルでの3日間



—昨年招聘いただいたメキシコのメリダで開かれる国際ブラスフェスティバルに今年も参加する。初日はジョン・ルーサー・アダムス、アルヴォ・ペルトといった20世紀の現代作曲家の曲をオランダの打楽器奏者ラモン・ロルマンズとのデュオで演奏。2日目は、ヴィレム・ブロイカー財団にご協力いただき、ブロイカー作曲・クセナキス・アンサンブルが演奏した「Pilot Light」をピアノ・ソロと吹奏楽にアレンジし、メキシコ初演を行う。最終日は、今年の春にアムステルダムのFoam写真美術館で写真家・横田大輔氏とコラボレーションし好評を博したビデオ・パフォーマンス「In a Landscape」を再演。スリリングな3日間となりそうだ。

12月17日 [日] [Centro Cultural La Cúpula](#)、メリダ (メキシコ)

12月18日 [月] [Centro Cultural Olimpo](#)、メリダ (メキシコ)

12月20日 [水] [Art Gallery Lux Perpetua](#)、メリダ (メキシコ)

2020年に向けて



©Tomoko Mukaiyama

あわただしくも充実した2017年が間もなく終わろうとしています。このメールが届くころには氷点下のアムステルダムから、今年最後の仕事場、真夏のメキシコに移動しているはずです。

先日、オランダの舞台芸術財団から2018年から2020年までの3年間の助成が決定し、アーツカウンシル東京からも「雅歌」プロジェクトに対する助成をいただけるというニュースが飛び込んできました。来年は、日本の祭祀、土着芸能にインスピレーションを得た作品の発表を予定しています。日本とオランダ、そしてそのほかの国々とがゆるやかにつながり合う作品を作ればと思っていますので、引き続きあたたかなご支援とご協力をいただけると幸いです。残りわずかな2017年と新しい年がみなさまにとって素晴らしいものとなりますよう。

向井山朋子

Tomoko Mukaiyama



Tomoko Mukaiyama Foundation
tomoko.nl info@tomoko.nl

Multus
multus.jp info@multus.jp

Want to change how you receive these emails?
You can [update your preferences](#) or [unsubscribe from this list](#)